

ブリッジ BRIDGE



社会福祉法人 ゆうかり

74

8
2022



● 特集 鹿児島県障害者芸術文化活動支援センター 〔かごしまアールブリュットセンター〕

● そうさく班いちご狩り、空手クラブ 他
〈ゆうかり学園〉

● 入園式、親子遠足 他
〈ゆうかり保育園〉

● 鹿児島市立ふるさと考古歴史館外出 他
〈地域生活支援拠点ゆうかり〉



社会福祉法人ゆうかり HP

特集ページ

鹿児島県障害者芸術文化活動支援センター [かごしまアールブリュットセンター]

7月より、地域生活支援拠点ゆうかりを拠点として、鹿児島県障害者芸術文化活動支援センター[かごしまアールブリュットセンター](略称:KAC)を受託することになりました。

芸術文化活動を行う障害者やその家族、福祉施設、支援団体等を支援する拠点として、芸術文化の享受、多様な活動の展開等、障害者の自立と社会参加を促進することを業務目的としています。

主な役割として、以下の(1)～(7)があります。

- (1)事業所等に対する相談支援
- (2)芸術文化活動を支援する人材の育成
- (3)関係者のネットワークづくり
- (4)展覧会(作品展)等の開催
- (5)情報収集・発信
- (6)バリアフリー演劇鑑賞会
- (7)その他(活動報告書の作成、全国・九州ブロック会議出席、書籍購入等)

今年度の活動といたしまして、12月の障害者週間において、ハートピアかごしまで3日間程度の展覧会を予定しています。公募による絵画、陶芸作品等を展示。また、鹿児島中央駅のつばめロードにおける展覧会も継続実施していきます。

11月には、バリアフリー演劇鑑賞会(11.4-5、サンエール鹿児島)の開催を予定しています。文化庁の日本博を契機とした公演で、無料公演の予定です。

ライブの舞台に手話通訳、字幕、副音声をつけて、視覚障害、聴覚障害、知的障害、老若男女、みんなで演劇を楽しみます。今回の演目は「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち」【東京演劇集団風】です。



リモートで瑞宝太鼓に演奏していただきました



つばめロードで毎年展示します



ロゴ(アルファベット部分)
作者:上山 滉平氏×株式会社アピール



上山滉平さんにもご参加いただきました



塩田知事に除幕していただきました

当法人は、鹿児島市基幹相談支援センターや地域生活支援拠点等、地域生活への移行支援を推進していく役割を中心になって担ってきました。そのノウハウや培ってきたネットワークを活かして、鹿児島県内の各地域に暮らす皆さんが、文化芸術に共に触れ、感じ、喜びを分かち合う時間や場所を増やしていきたいと考えています。

当センター事業のこれからの取り組みを通して、障害がある方もない方も皆が笑顔になる『かごしま(地域社会)づくり』を目指していきます。今もこれからも、『あなたの笑顔は みんなをHAPPYにする!』をモットーに、多様な芸術文化を皆で楽しんでいきましょう。

writer:塩満 創



(これまでの芸術文化にかかわる取り組み)

- ・バリアフリー映画上映会・講演会(2017.12.10)
- ・あなたの色、わたしの心展(2018.1.21～30)
- ・障がい者長崎打楽団 瑞宝太鼓公演・太鼓演奏体験(2018.10.28)
- ・音楽とリズムとからだ(2018.12.9)
- ・つばめロード市民ギャラリー作品展(2019年度～2021年度 12～1月頃)
- ・音とあかりの散歩道(2019・2021)
- ・全日本仮囲いアートミュージアム(Daiwa Lease SOCIAL ART MUSEUM)(株)ヘラルボニーさんと大和リースさんのコラボ企画に作品の紹介(2021.12/3～2022.3/19)





4.17 野球観戦♪
テレビで見るより大迫力でした！



4.22 そうさく班いちご狩り
上手に採れたかな？



4.22 そうさく班いちご狩り



4.19 誕生会
外で食べるのもいいですね♪



4.19 誕生会



5.24 吉野公園外出
ぽかぽか陽気いい気持ち



5.24 吉野公園外出



空手クラブ
気合入ってます！



音楽クラブ



音楽クラブ



空手クラブ



空手クラブ



音楽クラブ
久しぶりの演奏楽しかった♪

クラブ活動が再開しました！

空手クラブ・音楽クラブがコロナ禍による休止を経て約2年ぶりに再開しました。これまで通り外部から講師をお招きし、楽しく主体的に参加されています。音楽クラブでは歌やハンドベル等の演奏、空手クラブでは型や挨拶など武道に対する姿勢などを学ばれています。久しぶりに講師の先生方に会えた喜びや変わらず同じメンバーで活動できた喜び、私たちスタッフも皆さんのとても嬉しそうな笑顔を見ることが出来て嬉しく思います。まだまだ予断を許さない状況ですが、少しでも利用者さんの楽しみや生きがいになるようにプログラムを提供していきます。またいつの日か皆様の前で練習の成果をお見せできること楽しみにしております。



4月1日入園式



ドキドキ♪ワクワク♪



たくさんあそぼうね☆



5月14日 親子遠足☆



足湯きもちいいね



たくさん動物みたよ☆



5月17日もも組 芋の苗植え



植え方を教えてもらうよ♪



大きくなあれ



トラクターに乗ったよ



日常☆ばあ!!



きれいだね



ちぎってこねて♪



ファッションショー!

桜の木

4月。保育室の壁に色画用紙を使って大きな桜の木を2本作りました。1年を通して子ども達と一緒に木を育てながら、四季を感じていこうと考えました。5月。折り紙で作ったチョウやてんとう虫そして小鳥が実ったさくらんぼに集まってきました。6月。子ども達が園庭で小さなキノコを見つけると、早速折り紙でキノコを折り、自分達で自由に木に貼りつけていました。梅雨も明け、そろそろ色とりどりのセミがたくさんくっつくことでしょう。そして来年3月。この木が再び花いっぱいになったら、この子ども達は卒園していくのか…と、ちょっぴりウルウルしながら、今日も眺めています。

writer: 大塚 純子

避難訓練

梅雨も明けて暑い夏がやってきました。夏といえば台風の多くなる季節ですが、もしも身近で災害が起こった場合、速やかに避難できるよう、毎月避難訓練を実施しています。非常ベルの音に驚いて泣いてしまう子もいる中、職員の話をよく聞いて落ち着いて避難をする子ども達。避難の際の注意点も繰り返し伝えることでよく守れています。避難方法はもちろんのこと、なぜ避難をするのか理解できるよう、災害の恐ろしさを伝えていくことも大切なのではないかと思います。ぜひ、みなさんも家庭で災害についてお話をする機会を作ってみてください。

writer: 岩川 いくみ



みなさんとってもお似合いです



綺麗な手形ができますように



うどん作りと似てますね(笑)



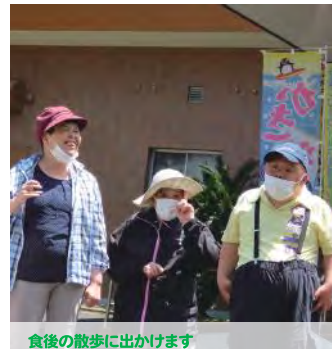
良いもの作りますよ



ホテルで会食中です



色とりどりの傘、傘、傘



食後の散歩に出かけます



素敵なホテルにきました



天気も良くて最高です



お互いかわりがありますよ



細かい所も丁寧に



少しづつかたちになってきました



職人技を披露してます

鹿児島市立ふるさと考古歴史館外出

5月21日かごしま考古歴史館へ出かけました。担当の方の説明を聞いて試行錯誤しながら一生懸命手形づくりを行いました。作成後は館内にあった素敵な衣装を着たり、周辺を散歩したりして楽しい1日になりました。

串木野（ホテルアクシアくしきの）方面外出

4月30日いちき串木野市にあるホテルアクシアくしきのへ外食ドライブ外出に出かけました。久しぶりのみんなとの外出でワクワクです。ホテルに到着すると、素敵な傘の廊下がお出迎えしてくれました。昼食は広い会場でゆっくりする事ができ、昼食後は海沿いを散歩して楽しみました。

桜の木 作成

大きな布にばすてるのみんなで桜の木を書きました。みんな思い思いに描き、色使いやタッチに個性が出てとてもいい作品が完成しました。完成後は花びらを付けてばすてるに飾って楽しみました。



研修報告

知的障害児（者）関係施設新任職員研修会

前職で障害のある方と接する仕事をしていましたが、直接生活支援をしたことはなく、今回初めて研修に参加させて頂き学ぶべき事が沢山ありました。とても勉強になり、また復習が出来きましたので、何点か共有できればと思います。

1. 今日の予定を目で見て分かるようにする
2. 難しくない言葉を使う
3. 場所の拘束ではなく、そこで何かをしたいと思えるように支援する
4. 自分で出来る事は自分でさせる
5. 過剰に特別扱いせず、皆平等に普通に接する
6. 相手の嫌がる事はしない
7. 自分が心を開かないと利用者も心を開かない
8. 支援するにあたり、ゆったりとした気持ちがないといけない
9. 注意ばかりしない
10. 利用者の心情をふまえた関わり方をすると利用者さんの行動が変わる
11. 出来る又は得意な事を変換して伸ばしてあげる

成長する人とは、「自分の支援がこれで良かったのか。と常に問い直す努力をする人」と言われていました。自分の発言・行動は本当に相手に対して良かった事なのかを常に問い、利用者さんに寄り添い支援したいと思います。

writer: 四元 静



研修報告

強度行動障害者支援者養成(基礎・応用)研修に参加して

まず初めに講師の方が話されたことは、強度行動障害のある方は「困った人」ではなく「困っている人」だということでした。利用者様の顔を浮かべながら聞いていると、なるほどと納得したり、また困っているのに上手く支援できなくてごめんねという気持ちになりました。

「困っている人」の背景には適切な行動を教えられていない、周囲が誤った対応を繰り返すことから行動が激しくなっていき、強度行動障害の状態が起こるということが分かりました。

私たち支援者はその状態を予防したり、軽減できるようその方の特性をしっかりと把握し、特性に合わせた統一した支援をすることが大切だということを学びました。利用者様の困りごとを少しでも減らしていけるよう、日々の支援に努めていきたいと思えます。

writer: 上村 千美子

退職

お世話になりました

●ゆうかり保育園・調理員 原口 聡子(勤続11ヶ月) ●地域生活支援拠点ゆうかり・看護師 山下 枝里(勤続10ヶ月)

新入職員

よろしくお願いします

●ゆうかり学園・生活支援員 盛 妙子 ●地域生活支援拠点ゆうかり・看護師 下野 留美子
●ゆうかり学園・看護師 酒瀬川 和隆

新入職員コメント

未経験ではありますが、利用者の皆さんに元気を頂いています。頑張りますので、よろしくお願いいたします。

writer: 盛 妙子

利用者さんが快適に生活して頂けるように頑張らせて頂きます。よろしくお願いいたします。

writer: 下野 留美子

「バリアフリー演劇」の可能性

社会福祉法人ゆうかり 理事 北岡賢剛

合理的配慮の義務化

最近、「バリアフリー演劇」に夢中になっている。

これまで、演劇に関わらず芸術は、障害がある人を観賞者として排除してきた。また、聴覚や視覚に障害がある人には、手話や音声ガイドの情報保障は、無いも同然だった。車椅子ユーザーの席は、一番前の端などが多く、選択の余地はない状態だ。とりわけ、知的障害がある人は「芝居を理解できないのではないか」「他のお客さんに迷惑をかけるのではないか」と、家族や関係者の中に漠然とした不安があり、一般催事で劇場に足を運ぶことは皆無だったと思う。

一方で、私たちは「共生社会を目指す」という。

しかし、同じ世代がドラえもんなどのアニメーションを見て楽しんでいるのに、障害が理由でドラえもんの存在と出会えずに大人になったとして、同じ時代を生きたといえるだろうか。

正に、文化や芸術（映画、演劇など）を共有せずに共生社会を創ることは可能だろうかと思えます。

実は、こういう問題意識は、水flow理事長とこれまで、酒を飲むたびに話題にして来た。そんなこともあり、2007年に視覚に障害のある友人の大河内直之さんと「バリアフリー

映画研究会」を立ち上げ、細々とであるが活動を続けてきた。その活動が続く中で、映画制作者の現場では、字幕や音声ガイドを付けることがスタンダードになってきた。

そして、演劇でもそんな可能性を実験してみようとなった。演劇は映画と違いライブ感に溢れていることで、手話や音声ガイド、字幕の取り扱い、時には演出家との意向と上手く噛み合わないこともあるため、情報保障の視点との調整や折り合いを求める作業が重要となる。全てが演出を構成する材料になる。手話は役者の動きに合わせて躍動する。

この「バリアフリー演劇」を創り上げるのは楽しい。みんなが一緒に楽しめたらと、始めたこの試行もだんだんと拡がって行き、文化庁が学校等での上演プログラムのメニューの一つに加えた。

障害者差別解消法も改正が行われ、ここで指摘されている「合理的配慮の義務化」は、文化・芸術分野にも求められることになった。

バリアフリー演劇の開催

前置きが、大変に長くなってしまった。ここからが本題だ。実は、このバリアフリー演劇・ヘレンケラー〜ひびき合うもの達〜を「サンエールがごしま」で、11月5日に上演することが決まった。

文化庁の主催で、鹿児島市や水flow理事長が代表を務める「鹿児島市障害者基幹相談支援センター運営協議会」が共催となる。ゆうかりは協力となる。この度のこの事業は、水flow理事長の熱心な誘致により開催されることとなった。職員の方やその家族の皆さんには、是非に、ご鑑賞頂ければと思う。不思議な豊かさに包まれるはず。

共生社会の創造に向けて

社会福祉法人ゆうかりは、長い歴史を持っている。やがて60年を迎える。初代の國彦理事長、二代目の洋理事長、そして、源彦理事長へと「共生社会の創造」に向けて、そのバトンは引き継がれて来た。時代と共にその風景は変わって行く。

このBRIDGEが、印刷され皆さんの手元に届く頃、源彦理事長が受け継いだバトンの重さをポジティブに受け止め、全力で走っている内容を取りまとめた、書籍「僕らはいつも旅の途中」(中央法規出版社)が出版されている。厚生労働省の法律などの解説などを手掛ける出版社からの著書であることの意味も大きい。この書籍といい、バリアフリー演劇といい、先代の大先輩たちも令和の時代が生み出す共生社会の姿に、喜んで頂いていると思う。



プロフィール

社会福祉法人ゆうかり 理事 北岡賢剛
東京演劇集団風 バリアフリー演劇 芸術監督

【好きなもの】

ホルモン 西武ライオンズ

【苦手なもの】

パクチー センマイ



「僕らはいつも旅の途中」
(中央法規出版社)

梅雨明けも例年より早く暑い夏がやってきました。温暖化が原因かはわかりませんが、鹿児島より東京の気温が高く、また、北海道より沖縄が涼しいといった逆転現象が起きています。この異常な暑さが原因で日中活動に歩行や外出を行う事が難しくなり、さらにコロナ対策でマスクをしなければいけないので熱中症リスクも上がってきています。日中活動を行う際は利用者の方が安心・安全に活動が出来るように、暑さ対策や活動内容を工夫して参ります。

余談ですが鹿児島ユナイテッドFC(サッカーチーム)も夏の暑さに負けずに上位争いを繰り広げております。われわれもチーム一丸となり鹿児島ユナイテッドFCに負けない職場にしたいと思います。

writer : 阿間見 良

= Event =

🏠 ご家族も参加いただけます 📍 地域の方々も参加いただけます

	ゆうかり学園	ゆうかり保育園	地域生活支援拠点ゆうかり
8月	12日～17日 夏季休暇 誕生会	19日 避難訓練 30日 誕生会	避難訓練 ぱすてる夏祭り
9月	十五夜 いつまでも元気会	6日 親子レクリエーション練習 (ふれあいスポーツランド) 13日 親子レクリエーション練習 (ふれあいスポーツランド) 17日 親子レクリエーション 27日 誕生会 30日 避難訓練	十五夜
10月	誕生会	7日 秋の遠足 19日 内科検診 21日 避難訓練 25日 誕生会 28日 防犯訓練	芋掘り 灯籠づくり

※新型コロナウイルス感染症の影響で、予定が変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

発行責任者 理事長 水流 源彦
ブリッジ編集委員会 松山 竜馬・塚田 詞子・川田 晃一(ゆうかり学園) 神之 恵理・松元佳奈子(ゆうかり保育園)
阿間見 良・四元 静・八瀬尾 理恵(地域生活支援拠点ゆうかり)
ゆうかり学園 〒891-1201 鹿児島市岡之原町1005番地 TEL 099-243-0535 FAX 099-243-0520
ゆうかり保育園 〒891-0116 鹿児島市上福元町5828番地 TEL 099-263-1775 FAX 099-263-1776
地域生活支援拠点 ゆうかり 〒890-0014 鹿児島市草牟田1丁目8-7 TEL 099-813-7183 FAX 099-813-7176

